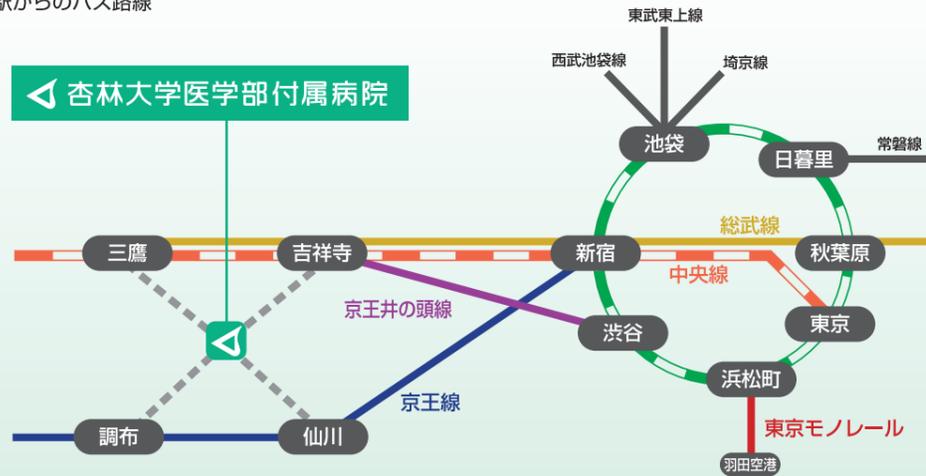
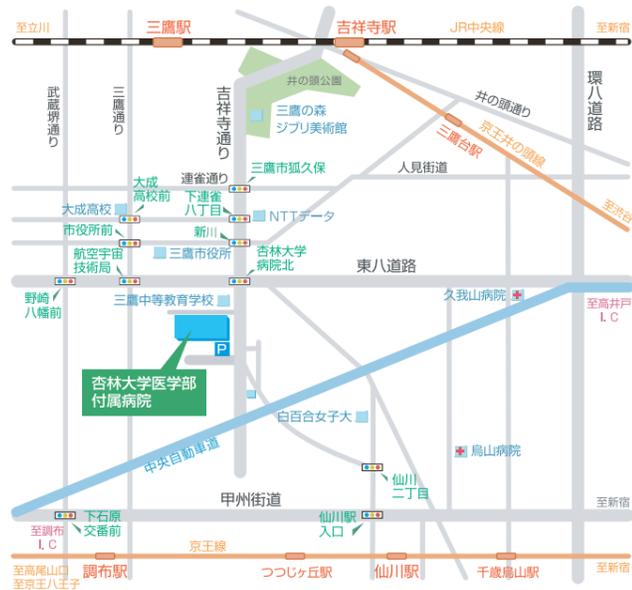


アクセス

----- 各駅からのバス路線



杏林大学医学部付属病院 臨床研修(初期・専門)のご案内 2020



- JR中央線 三鷹駅南口<約20分>
 - のりば7 仙川行、晃華学園東行、新川団地中央行→「杏林大学病院前」バス下車
 - のりば8 野ヶ谷行→「杏林大学病院入口」バス下車
- JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口<約20分>
 - のりば6 野ヶ谷行、深大寺行→「杏林大学病院入口」バス下車
 - のりば6 調布駅北口行(杏林経由)→「杏林大学病院前」バス下車
 - のりば7 仙川行、新川団地行、杏林大学病院前行→「杏林大学病院前」バス下車
- 京王線 仙川駅<約15分>
 - のりば1 吉祥寺駅中央口行、三鷹駅行→「杏林大学病院前」バス下車
 - ※バス停は商店街を抜け、甲州街道を渡ったところにあります。
- 京王線 調布駅北口<約24分>
 - のりば13 吉祥寺行(杏林経由)→「杏林大学病院前」バス下車
 - のりば14 杏林大学病院行→「杏林大学病院」バス下車

臨床研修のご案内は下記へお問い合わせ下さい。

TEL:0422-47-5511 (代) kenshui@ks.kyorin-u.ac.jp

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部付属病院 総合研修センター

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL
http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/

杏林大学の建学の精神

真・善・美の探究

杏林大学医学部附属病院 診療センター・診療科

高度救命救急センター	脳神経内科	泌尿器科
臓器・組織移植センター	感染症科	眼科
熱傷センター	高齢診療科	耳鼻咽喉科
総合周産期母子医療センター	精神神経科	産婦人科
腎・透析センター	小児科	放射線科
がんセンター	上部消化管外科	放射線治療科
脳卒中センター	下部消化管外科	麻酔科
造血細胞治療センター	肝胆膵外科	救急科
人間ドック	呼吸器・甲状腺外科	腫瘍科
	乳腺外科	リハビリテーション科
呼吸器内科	小児外科	救急総合診療科
循環器内科	脳神経外科	
消化器内科	心血管外科	病理診断科
糖尿病・内分泌代謝内科	整形外科	臨床検査部
血液内科	皮膚科	
腎臓・リウマチ膠原病内科	形成外科・美容外科	

許可病床数	1,153床	外来患者数	2,053人 (1日平均)
入院患者数	840人 (1日平均)	救急 外来患者数	90人 (1日平均)

(2019年現在)

ご挨拶

共に良い医療を作りませんか。



当院は、東京都の人口の約3分の1を占める多摩地域唯一の大学医学部附属病院の本院です。周辺には井の頭公園や神代植物公園など昔の武蔵野の面影を残す緑豊かな名所が数多く残っているなど、働く環境にも恵まれております。当院は都内に4つしかない高度救命救急センターはじめ、総合周産期母子医療センター、脳卒中センターなどの専門性が高い救急医療から、1、2次救急まで24時間の救急体制をとっております。一方で、難治性の慢性疾患にも各診療科の優秀なスタッフが診療しております。このため、当院の研修プログラムにより、救急疾患からcommon disease、さらには希少な疾患まで幅広く研修することができます。また、医師の働き方改革にも十分配慮したプログラムにもなっております。現在大きな社会問題になっている新型コロナウイルス感染症にも系統的な対策を講じております。当院の理念は「あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供します」ですが、医師教育のモットーは「良医を育てる」です。病院としても初期研修医の皆さんが充実した研修ができるように応援いたします。

病院長 市村 正一

初期研修も専門研修も杏林大学病院で



医学生、研修医の皆さん、私からは、教育・研修体制を中心に当院の紹介をさせていただきます。当院は多摩地区唯一の本院機能をもつ大学病院で、都内有数の病床数と高度救急機能を有する一方、地域の中核病院としてcommon diseaseも数多く診ることができ、高いactivityと豊富な症例数を兼ね備えています。強調したいのは、病院が一丸となって臨床に取り組み、かつ教育熱心な気風に溢れていることです。各科の指導医・上級医は多くが「研修指導医のための講習会」を受講し、効果的な指導法を習得済みです。また、研修医室、研修医講義室、クリニカル・シミュレーション・ラボラトリー、「UpToDate」などのデータベース、電子版医学雑誌を利用可能な電子図書館など、設備面でも充実しています。安全への配慮も万全ですので、安心して臨床能力を伸ばすことができます。子育て中の医師のキャリア形成を支援する制度も充実しており、状況に応じた働き方を選択できるのも利点です。以上、すべての皆さんの初期研修、専門研修に適していると確信します。随時見学を受け付けていますので、ご不明の点は遠慮なく係に御連絡下さい(連絡先は裏表紙参照)。

総合研修センター長 要 伸也

CONTENTS

・ご挨拶	02
・病院概要	02
・初期臨床研修	03
・研修環境	05
・病院・キャンパスと周辺のご案内	07
・専門研修	09
・アクセス	裏表紙



熱心な指導により、医師としての基本的な能力(知・技・心)の修得を支援 します

初期臨床研修の理念と目標

杏林大学医学部付属病院の初期臨床研修は、将来選択する専門領域にかかわらず、その土台となる以下の基本的臨床能力の修得を目標とします。

- 1 医師にふさわしい責任感・倫理観を身につける。
- 2 患者の立場・気持ちを深く理解し、思いやることができる。
- 3 頻度の高い疾患・病態に関する適切な知識を有し、それを個々の患者に応用できる。
- 4 患者の病状をよく把握し、適切な検査・治療を計画できる。
- 5 患者、家族に対して検査・治療の説明を適切に行い、同意を得ることができる。
- 6 医療スタッフとコミュニケーションをよく取り、よい人間関係を築く。
- 7 ルールを遵守し安全な医療を実践する。
- 8 適切な基本的診察・検査・治療技能を身につける。



この目標の達成のため、次のような研修を提供します。

- 1 将来進みたい領域に合わせて2種類のプログラムを用意しました。
- 2 一次から三次まで幅広い救急研修ができます。
- 3 8週間の麻酔科研修により、気管挿管などの手技、呼吸管理や体液管理などがマスターできます。
- 4 地域医師会・僻地の病院との連携により、有意義な地域医療研修が行えます。
- 5 症例数が豊富でハイレベルな専門診療科において高い診療能力を身につけることができます。
- 6 侵襲的な手技を安心して繰り返し練習できるクリニカル・シミュレーション・ラボを整備しました。
- 7 常勤医の約3分の2は、指導能力向上のための講習(指導医養成ワークショップ)を受講しています。受講者の割合は毎年増加しています。
- 8 看護部、検査部、事務部などの協力により、病院全体で研修医を育てる体制を構築しています。



杏林大学
医学部付属病院
一般コース

杏林大学
医学部付属病院
周産期
重点コース

初期臨床研修

平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策をとりました。

1. 厚生労働省の定める到達目標の大幅改訂に合わせ、病院全体および各分野の到達目標を見直しました。
2. 外科、産婦人科、小児科、精神科が必修となりましたが、当院のプログラムは従来からこれらの分野を必修にしていたので、必修科目の変更はありません。
3. 外来研修の必修化にも対応しています。
4. 全国共通の評価票とともに、これまで用いていた評価票をもとにした当院独自の評価票を併用し、より正確できめ細かな研修評価を行います。
5. 28週間の自由選択期間がありますので、将来の進路に適した分野を選んで研修することができます。

研修プログラム

制度の定める必修科目である「内科(内科外来研修含む28週間)」、「救急(12週間)」、「外科(4週間)」、「産婦人科(4週間)」、「小児科(4週間)」、「精神神経科(4週間)」、「地域医療(4週間)」の他に、「麻酔科(8週間)」を必修とし、「救急と全身管理に強い医師」の養成をめざしています。自由選択期間は28週間あり、プログラム責任者の助言のもとに、将来の進路を見据えた自分なりのプログラムを組むことができます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科					麻酔科		外科	内科 外来	選 択		
2年次	救 総	救 急	産	精	小	地	選 択					

救総:救急総合診療科(一次・二次救急)、産:産婦人科、精:精神神経科、小:小児科、地:地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



「周産期重点コース」も基本的なコンセプトは「一般コース」と同じですが、小児科あるいは産婦人科の研修期間を長くとり、この領域の研修が重点的に行えるようになっていきます。ただし、小児科または産婦人科以外に、将来の進路に役立つと思われる科を研修することも可能です。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	産	小	外科	麻酔科	内科 外来	内科						
2年次	救 総	救 急	精	地	選 択	選 択:原則として小または産						

救総:救急総合診療科(一次・二次救急)、産:産婦人科、精:精神神経科、小:小児科、地:地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



研修医の声



中島 正太郎さん

私は平成30年3月に九州の大学を卒業し、同年4月より杏林大学医学部付属病院にて初期研修を開始しました。

ここでは当院の魅力、私なりの視点で少しでも伝えることが出来ればと思います。

まず、当院では毎年約60人の研修医が入職しますが、その内約25人が他大学出身です。研修医だけでなく、各科にも他大学出身の先生が多く在籍し、マッチング時だけでなく入職後も他大学出身であることを必要以上に気にしたことはありません。

また、当院では入職後最初の2週間にオリエンテーション期間

があります。そこでは研修の流れ、手技の修得、患者さんとの接し方、業務に関するPCの使用法等を学ぶことができます。手技はその期間中に教えてもらうことができるため、いきなり現場でやるわけではなく、ある程度のやり方を学んだ上で患者さんに臨むことができるのも魅力の一つであると思います。2週間の期間がありますので、同期との仲を深めることもできることも伝えておきます。

その他、指導医の数が多いのも大病院ならではのメリットです。なおかつ、とても親身になって指導してくださる先生ばかりで、様々な考え方、手技の方法やコツを学ぶこともできます。

一度見学に来ていただくと、病棟、研修医室や当直室、また勤務する研修医の姿を見ることができると思います。是非、気軽にいらして下さい。



三ツ矢 紫音さん

当院は東京都のほぼ中央に位置する北多摩南部地域にあり、多摩地区唯一の大学医学部付属病院です。病院周囲には吉祥寺など多くの人で賑わう場所がある一方で、井の頭公園など緑豊かで自然にあふれた施設も点在していて、都内ですが落ち着いた環境にあると思います。

私は杏林大学の出身であり、学生の頃から病棟実習で先輩方の研修の様子をみて、当院での研修を決めました。

実際に初期研修をしてみてよかったと思うことは沢山あります。当院は特定機能病院であることもあり、様々な高度な施設を取り揃えているため、研修中から多くの高度な専門医療に触れることがで

きます。その一方で、多摩地区の中核病院としての役割も担っており、近隣の医療機関と連携を取りながら多くのcommon diseaseにも触れることができます。

また、将来何科に進むのか迷っている方もたくさんいらっしゃると思いますが、2年間で合わせて7カ月選択科目を組むことができ、幅広くそれぞれのニーズにあった科を選択することができるため、将来的にどの科に進むのか具体的にイメージしながら研修できると思います。

また、同期も出身大学を問わずアットホームな雰囲気ですし、その他にも何かあればいつでも誰かに相談できる環境が整っていると思います。

長くなりましたが、実際に見学に来て頂き雰囲気を感じていただくのが1番だと思います。

ぜひお気軽に見学いらして下さい。

指導医の声



小田 未来さん(呼吸器内科)

当院は多摩地区唯一の大学病院の本院です。大学院として多くの専門科があり、common diseaseから稀少疾患までさまざまな疾患を経験することができます。

高度医療機関であり重症疾患の全身管理や治療も学ぶことができます。手技も上級医の指導の下、なるべく多くの経験を積めるよう心がけています。日々の診療だけでなく、学会発表の機会も積極的に作っています。その際は上級医がしっかり指導するので安心して発表することができます。

また都内で行われるさまざまなエキスパートの先生方の講演会や研究会に参加することもできるため、院外でも勉強できる環境が整っています。労働時間は不安に思われている方も多いと思いますが、当院では勤務時間をオンラインで管理しています。労働過多にならないような勤務体制を作り、無理なく研修できるシステムを構築しています。

当院の各科医師や研修医は他大学出身者が多いのも特徴であり、出身大学を気にすることなく、すぐに馴染める雰囲気があります。研修医として働きはじめると初めてのことばかりで緊張し不安もあるとは思いますが、当院では安心して研修できる環境を整えています。

皆さんと一緒に働けるのを心待ちにしております。

一人一人の夢を実現するために、 万全の研修環境を提供します



手術室

医療施設

特定機能病院、東京西部地域の一次、二次、三次救急医療の基幹病院およびがん拠点病院としての使命を担っています。平成7年には、厚生労働大臣の認定する全国10ヶ所(当時)の高度救命救急センターの一つに認定され医療の質、その規模、内容ともに全国トップクラスの評価を受けています。



TCC(高度救命救急センター)



ICU



文献検索エリア



新着雑誌エリア



大閲覧室

図書館

医学図書館は、学園の教職員・学生のための施設です。約3,000m²の館内に約9万1千冊の図書があります。電子ジャーナルや文献データベースを中心としたオンラインサービスにも力を入れています。電子ジャーナル約6万4千タイトルのほか、臨床支援データベースのUpToDate、The Cochrane Libraryを導入して、診療・研究・教育活動をサポートしています。平日は8時30分から22時30分、土日祝日は9時から22時30分に開館しています。リモートアクセスサービスに登録すると、自宅から文献検索データベースや電子ジャーナルを利用することができます。個人ポータルサイト「MyLibrary」をお使いいただくと、オンラインで資料の予約、文献取り寄せの申込などができます。

研修医室・研修医講義室



大学院講堂

講演会、学会、式典などに幅広く利用されています。
席数:243席、車椅子席2台分

クリニカル・シミュレーション・ラボ

クリニカル・シミュレーション・ラボラトリー(略称CSL)では、医師、医学部・保健学部・医学部付属看護専門学校の学生や教員、看護師、コメディカルスタッフなどが随時トレーニングを行えるように、色々なシミュレーション器具を取り揃えています。

シミュレーター

蘇生(成人、小児)、心音、肺音、気道管理、中心静脈穿刺、腰椎穿刺、静脈注射、導尿、皮膚縫合、鏡視下手術、超音波装置、除細動装置、眼底・耳の診察、乳癌触診、直腸診など

主な設備

- 総床面積 約114m²
- ホワイトボード 1台
- スクリーン 1台



シミュレーション研修風景



職員寮

(令和2年5月現在)

病院から徒歩10分圏内に、マンション形式の独身者用職員寮があります。
(空き部屋がなく、入寮できない場合もあります。)

寮費/1か月
寮費50,000円・共益費3,000円・保険料136円

部屋の一例

占有面積約24m²/RC構造/3階建て/エアコン完備/バストイレ別/都市ガス/居間フローリング/室内洗濯機置き場有/CATV視聴可(武蔵野三鷹CTV)/駐輪場有/駐車場なし/オートロック/WiFi完備

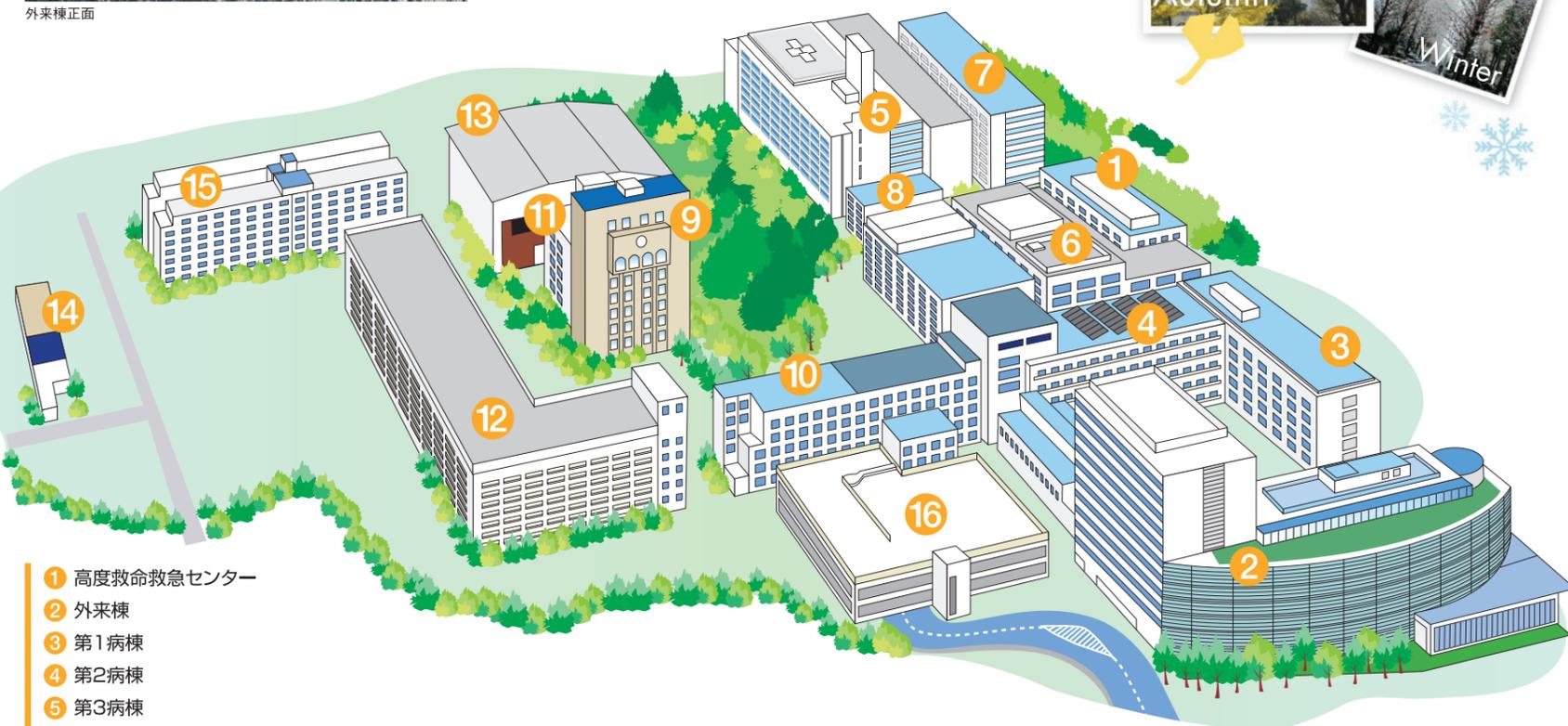
住みよい街、美しいキャンパスで 快適な研修生活を



外来棟正面

キャンパスの四季

武蔵野の面影を残した豊かな緑に囲まれたキャンパスでは、春には梅や杏や桜の花が、初夏には鮮やかな新緑が、そして秋には美しい紅葉が見られ、四季折々の景色が楽しめます。



- ① 高度救命救急センター
- ② 外来棟
- ③ 第1病棟
- ④ 第2病棟
- ⑤ 第3病棟
- ⑥ 中央病棟
- ⑦ 外科病棟
- ⑧ D棟(研修医棟)
- ⑨ 医学資料情報センター(本部棟)
- ⑩ 医学部講義棟
- ⑪ 医学図書館
- ⑫ 基礎医学研究棟・臨床医学研究棟
- ⑬ 松田記念館
- ⑭ 看護専門学校
- ⑮ 看護医学教育研究棟
- ⑯ 病院駐車場

院内アメニティ施設のご案内



院内には、カフェや24時間営業のコンビニエンスストアなどのアメニティ施設があります。

病院・キャンパス 周辺情報



- A 職員寮
- B スーパーマーケット
- C 家電量販店
- D スポーツ用品店
- E ホームセンター
- F 洋服店
- G ゴルフショップ
- H コンビニエンスストア
- I 飲食店
- J カラオケ
- K ドラッグストア
- L 月極駐車場



杏林大学 井の頭キャンパス

井の頭公園

三鷹の森ジブリ美術館 ©Musood Arte Ghibli

安定した身分と充実した研修プログラムにより、 さまざまな領域で活躍できる医師の育成を目指します



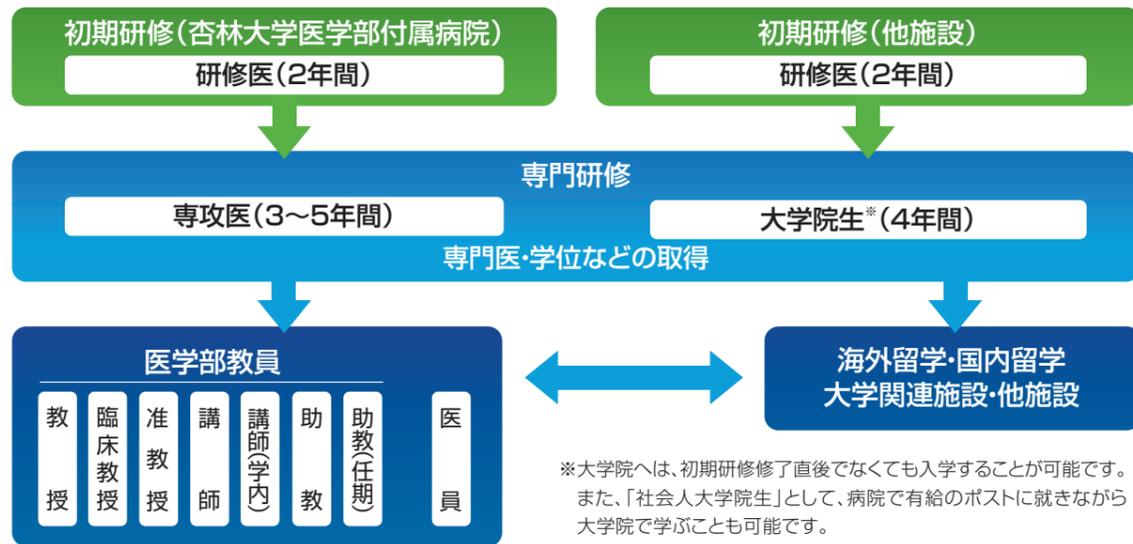
専門研修



個々のキャリア形成を親身になってサポートします。

平成30年度から開始された新専門医制度に則り、19の基本専門領域のすべてで「専門研修プログラム」を作成しました。専攻医の身分・処遇を明確にして経済的な不安がないようにしています。また、妊娠・出産、子育て、あるいは介護などでフルタイムの仕事ができない状況でも仕事を継続できるように支援しています。また、「社会人大学院」の制度があるので、研修医(2年目)あるいは専攻医として病院で勤務しながら、大学院の課程を修めることができます。専門医資格と学位(医学博士)の取得まで、責任を持って指導します。

杏林大学医学部付属病院の卒後教育の概要



杏林大学医学部付属病院の専門研修の理念と目的

大学内のみならず、医療界の様々な場面で活躍できる、次のような人材の育成をめざします。

- ① 高度の専門的な診療能力を持った医師
- ② 研究心、研究能力を持った医師
- ③ 後進を適切に指導する能力を持った医師

この目的を達成するために、安定した身分と処遇、各科の専門研修プログラムに基づいた適切な研修環境を提供します。

取得できる専門医・指導医資格

新専門医制度におけるサブスペシャリティの専門資格については現在検討中ですが、参考のため旧制度において当院での専門研修により取得できた資格を示します。

専門医
など

- | | | |
|---|--|--|
| 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医
胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医
外科周術期感染管理認定医
甲状腺外科専門医
呼吸器外科専門医
死体解剖資格
神経超音波検査士
心臓血管外科専門医
精神保健指定医
総合内科専門医
頭頸部癌専門医
内視鏡技術認定医
内分外科専門医
日本アレルギー学会アレルギー専門医
日本医学放射線学会放射線科認定医・専門医
日本医学放射線学会放射線診断専門医・治療専門医
日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医
日本化学療法学会抗がん剤化学療法指導医
日本カプセル内視鏡学会認定医
日本眼科学会専門医
日本感染症学会感染症専門医
日本肝臓病学会肝臓専門医
日本肝胆脾外科学会高度技能専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・教育医
日本緩和医療学会認定医・専門医
日本気管食道学会気管食道科専門医
日本救急医学学会専門医
日本区域麻酔学会認定医
日本形成外科学会専門医
日本外科学会外科専門医・指導医 | 日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医
日本血液学会専門医
日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
日本産科婦人科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本集中治療学会専門医
日本循環器学会専門医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本小児科学会専門医
日本小児外科学会専門医
日本小児麻酔専門医
日本食道学会食道科認定医
日本神経学会専門医
日本心臓血管麻酔専門医
日本腎臓学会腎臓専門医
日本睡眠学会認定医
日本頭痛学会専門医
日本性機能学会専門医
日本整形外科学会整形外科専門医
日本精神神経学会精神科専門医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本胆道学会認定指導医
日本超音波医学会超音波専門医
日本てんかん学会認定医(臨床専門医)
日本透視医学会専門医 | 日本糖尿病学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本内分泌学会専門医・指導医
日本乳癌学会乳癌認定医・専門医
日本認知症学会専門医
日本熱傷学会熱傷専門医
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会脳卒中専門医
日本泌尿器科学会専門医
日本泌尿器科学会泌尿器腔鏡技術認定医
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
日本病理学会病理専門医
日本ペインクリニック学会専門医
日本ヘルシオ/ウター学会認定医
日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医
日本脈管学会認定脈管専門医
日本輸血・細胞治療学会認定医
日本リウマチ学会リウマチ専門医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本臨床検査医学会臨床検査専門医
日本臨床細胞学会細胞診専門医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
日本臨床神経生理学学会認定医
日本レーザー医学会レーザー専門医
日本老年医学会老年病専門医
日本老年精神医学会専門医
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医
臨床遺伝専門医 |
|---|--|--|

他多数

※取得できることを保証するものではありません。

専攻医の声

佐藤 良輔さん(腎臓・リウマチ膠原病内科)



私は杏林大学出身で2017年4月より杏林大学医学部付属病院で初期研修を行い、2019年4月に腎臓・リウマチ膠原病内科に入局し、現在内科専門研修の専攻医として勤務しています。当院の研修の特徴として、2年間の初期研修では自由選択期間が長く、フレキシブルに研修を行えるため、自分の進路が決まっている人は将来を見据えて研修することが出来ます。私自身は初期研修で様々な経験を積むことができ、自分の新たな可能性を見つけることが出来る環境であると実感しました。私の所属する腎臓・リウマチ膠原病内科では原発性また続発性腎疾患を扱う腎臓内科と関節リウマチ

や血管炎をはじめとする膠原病を扱うリウマチ膠原病内科を1つの科で診療しております。診療に際して様々な内科疾患や膠原病では皮膚病変、関節病変など全身症状を呈することも多く、初期研修で学んだ知識や手技は現在の私の土台になっております。現在新専門医制度が開始となり、より複雑になっている専門研修ですが、当院ではcommon diseasesから希少疾患まで様々な症例を経験することができ、丁寧かつ熱心な指導医も多く、しっかりとフィードバックを受けることが出来ます。また人のあたたかさやアットホームな雰囲気も当院の特徴の一つであり、安心して研修や診療に打ち込める環境であると感じます。研修先として杏林大学病院を検討している方は是非一度に見学いらしてください。実際に雰囲気を感じ取っていただければと思います。

中田 千穂さん(循環器内科)



私は他大学を卒業の後、2017年4月から杏林大学医学部付属病院で初期臨床研修を行いました。2019年4月より同大学の循環器内科に入局し内科専攻医として勤務しています。学生時代に病院見学へ来た際、風邪や胃腸炎などのcommon diseaseから大学病院ならではの最先端治療まで多くを学べる環境と、院内の明るい雰囲気にも魅力を感じ初期研修先として希望しました。初期研修を進めるにつれて、循環器疾患は慢性疾患から急性性の高いものまで様々であり、カテーテルやデバイスなど多くの手技があること、重症患者でも治療により劇的に改善が得られることに心惹かれ、循環器内科への入局を決意しました。

杏林大学病院は多摩地区の中核病院であり、多彩なバックグラウンドを持った患者さんが来院されます。また、救急医療の要である高度救命センターを有しているために、昼夜を問わず多くの症例を経験出来ることも魅力的です。現在専攻医として勤務する中で、上級医の丁寧な指導と疑問に思った点はすぐに解決し次に活かすことのできる症例数の多さが、医師として必要な知識や技術の習得にとっても恵まれた環境であると感じます。初期研修に関しても他大学出身者が多いため学問など無くアットホームな環境で研修を行うことができ、実際に2年間の初期研修を終えてやはり満足度が高いので、同期の数多くもそのまま専門研修を同病院で行っています。是非一度見学いらして頂き、実際に雰囲気を感じてもらえればと思います。

指導医の声

倉田 麻衣子さん(皮膚科)



当院は都心に程近い、井の頭公園や閑静な住宅地に囲まれた緑豊かな多摩地区にあります。この地区で唯一の大学病院の本院であり特定機能病院でもあることから、地域医療の中核を担うとともに、高度な医療の提供を行っています。また、新専門医制度が平成30年度から始まり、当院は総合診療専門医を含む19領域の全てにおいて基幹施設となっています。連携施設と協力して質の高い研修指導・支援体制を各診療科で整えていますので、安心して研修を受けることが可能です。

私の所属する皮膚科では、皮膚科専門医・指導医が常勤医師の約半分を占めており、日常診療はもちろんのこと、専門医取得に必要な知識や技能を習得できる密度の高い指導体制をとっています。また、女性医師が約7割を占めていることから、ライフイベントと研修の両立を積極的にサポートしています。もしご興味がありましたら是非一度見学にいらしていただければと思います。どの医局も、出身大学、初期研修先の異なる先生がアットホームな雰囲気です仕事をしており、各診療科の連携も緊密ですから、他大学出身でもずんなりと溶け込める研修環境であることも当院の特徴です。教育体制と研修環境の整っている杏林大学医学部付属病院で是非一緒に働かせませんか。